

インプラント補綴にも  
従来補綴にも役立つ!!

見る目が変わる!

# 「欠損歯列」の読み方, 「欠損補綴」の設計

「欠損歯列」とその「欠損補綴」を見る目が  
本書を読む前と後で変わる!



補綴治療の目標は「欠損の拡大防止」. それには「欠損歯列」=欠損の病態に対する診断と, 「欠損補綴」=設計が必要である. 両者は家を建てる土地の条件と家屋の設計に喩えられ, 「条件と設計」が一致してこそ欠損の拡大を防ぐのが可能となる. 両者は個別に語られ, 総合的にまとめられることがなかった. 本書はその初の試みである.

## 「欠損歯列」を読む

- ◆「歯数」「咬合支持数」「受圧条件」「加圧因子」でケースの「欠損様式」が見える
- ◆「宮地の咬合三角」「Eichner分類」などから欠損の「レベル」が見える
- ◆「Cummerの分類」で示された欠損の「パターン」から, 対応の難易度と将来の崩壊の進行像「コース」が見える

## 「欠損補綴」を設計する

- ◆「構造力学的安定」のために必要な設計のキーが見える
- ◆現代の主要な補綴臨床家の理論が網羅的に見える
- ◆「欠損の拡大を防ぐ」ための指針が見える



●サイズ:A4判変型 ●272ページ ●定価:16,800円(本体16,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



# 部分欠損補綴の「予後判断」と「設計のキー」という観点に立って、歯科臨床において適切な機能回復がいかに重要であるかを臨床家に伝えたい

## ■ CHAPTER 1 「欠損歯列」と「欠損補綴」とは？

section 1 ディスカッションでわかる「欠損歯列」と「欠損補綴」

section 2 「欠損歯列」と「欠損補綴」のコンセプト

## ■ CHAPTER 2 「欠損歯列」の病態と予後の診断

section 1 レベル・パターン・スピードからみた病態診断

section 2 欠損の進行のコースと予後判断：リスクを把握した補綴設計のキー

## ■ CHAPTER 3 「欠損補綴」への個々のリスクの捉え方と予後

section 1 欠損形態によるリスク

section 2 咬合によるリスク

section 3 パラファンクションによるリスク

section 4 歯根・歯槽骨・顎堤の状態によるリスク

section 5 上下顎のアーチのバランスの違いによるリスク

## ■ CHAPTER 4 「欠損歯列」と「欠損補綴」の諸相

## ■ CHAPTER 5 「欠損歯列」「欠損補綴」の視点からの長期経過症例の評価

編著

本多正明 宮地建夫 伊藤雄策 武田孝之

著（掲載順）

永田省藏

鷹岡竜一

前田芳信

池邊一典

中村公雄

山崎長郎

今井俊広

細川隆司

中本哲自

正木千尋

内藤正裕

萩原芳幸

細山 愼

小出 馨

浅野栄一郎

筒井昌秀

筒井照子

添島正和

国賀就一郎

内藤禎人

永尾 寛

市川哲雄

榎本紘昭

船登彰芳

黒田昌彦

加々美恵一

きりとり線

注文書

見方が変わる！「欠損歯列」の読み方、「欠損補綴」の設計

冊注文します。

モリタ商品コード:805528

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒 )		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。  
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送りさせていただきます。